

第 1 回 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：グループホーム たてがみの郷

サービス種類：■グループホーム ・ □小規模多機能型居宅介護

□地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

□地域密着型通所介護 ・ □認知症対応型通所介護

日 時：令和 6 年 5 月 16 日（木） 9：30～10：00

場 所：会議室

出席者：10 名

駐在所巡査長	1 人	知見を有する者	0 人
利用者家族	2 人	大田市職員	1 人
地域住民の代表	2 人	民生委員	1 人
事業所職員（職名：管理者、GH 主任、小規模主任）			3 人

報告事項：登録実績と利用状況（R6.4 月末現在）

現在入居者数		18 名	新規入居者数	1 月	0 名
内 訳	男 性	2 名		2 月	0 名
	女 性	16 名	退居者数	1 月	0 名
	計	18 名		2 月	0 名

※最少年齢 80 歳 最高年齢 99 歳 平均年齢歳 90.7 歳（4 月末）

令和 6 年度 グループホーム（認知症対応型共同生活介護） 利用一覧

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
要支援2	0												
	0												
要介護1	7												
	199												
要介護2	6												
	240												
要介護3	3												
	186												
要介護4	0												
	0												
要介護5	2												
	62												
計	18												
	540/540	/558	/540	/558	/558	/540	/558	/540	/558	/558	/522	/558	

入院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
空室	0												
入居率	0												
稼働率	100%												

地域別利用状況（令和6年4月末）

波根	久手	大田	川合	大屋	大森	三瓶	仁摩
3人	1人	6人	1人	1人	1人	2人	2人

議 題：

1. 活動状況報告

①運営推進会議検討項目の報告

No.35：役割、楽しみごとの支援について

→事業としては利用者の嗜好や自宅での役割などを聴き取りし、食事作り・おやつ作り、畑、花壇などを全体の活動として取り組んでいる。

No.48：本人は自分なりに近隣や地域の人々に関わったり交流することが出来ている

→事業所での支援は現在計画中であるが、地域への作品出展に向けて創作活動を行っている状況。2名の利用者に対しては家族へ協力していただき、地元の店舗へ外出したり知人と交流したりする機会などをもっている。

②外部評価関連について

昨年度の評価を受け、今年度の目標達成計画について説明した。

・No.6 虐待防止の徹底

年2回の研修、3か月に1回の委員会開催し虐待予防の取組等について評価

・No.12 職員を育てる取り組み

内部外部を含めて年間研修計画の立案、部署内での勉強会を実施予定

・No.25 災害対策について

避難マニュアルを基に6月、11月に総合訓練を予定。地域の方にもマニュアルに目を通して頂き、部分的も含めた訓練参加や協力検討を行う。

→上記①②についての説明に対する質問や意見なし

2. その他

- ・新役員の紹介（駐在、中浜自治会長）
- ・運営推進会議の目的、当該会議での流れの説明
- ・令和6年度グループホームたてがみの郷事業計画についての説明（別添）
- ・大田市役所介護保険からより介護保険だよりの配布

次回開催日：令和6年7月18日（木）9：30～10：30

第2回 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：グループホーム たてがみの郷

サービス種類：■グループホーム ・ □小規模多機能型居宅介護

□地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

□地域密着型通所介護 ・ □認知症対応型通所介護

日時：令和6年7月18日（木）9：30～10：30

場所：第一会議室

出席者：8人

駐在所巡査長	欠席	知見を有する者	0人
利用者家族	1人	大田市職員	1人
地域住民の代表	2人	民生委員	1人
事業所職員（職名：管理者、主任）			3人

議題：

1. 登録実績と利用状況について 別紙レジュメ参照

2. 活動状況報告

①入退去について：6月7月と入退居なし。6/2～6/24間で利用者の転倒骨折があり入院したが退院された。

②運営推進会議検討項目

No.35 役割、楽しみごとの支援

- ・世界アルツハイマーデーに向けて「認知症の正しい知識の普及と当事者の思い等を伝える」目的でポスター展示の協力を行った。
- ・洗濯物や掃除などの役割、習字、グランドゴルフ、ピアノなどの趣味活動の様子を写真やスライドを用いて説明した。

No.48：本人が持つ力の活用

- ・調理を月一回、おやつ作りを週1回実施。

利用者家族より認知症でどこまで出来るのか、味覚が分からなくなった方にどのようにアプローチしているのかとの意見があった。

→調理工程の一部や器の準備、配膳などで携われるように支援している。現状では機能低下予防が図れているなど良い効果が得られていることを伝えた。

③外部評価関連

No.12 職員を育てる取り組み

(内部研修)

- ・ 5/28～5/29 排泄研修（尿失禁の種類、排泄ケアの手順）4名
- ・ 6/20 新人職員対象 褥瘡予防研修 3名

(外部研修)

- ・ 6/6～6/7 認知症実践者研修 1名
- ・ 6/19 メンタルヘルス研修 6名

No.25 防災対策

7/24 夜間想定避難訓練予定

- ・ 初期動作の対応について訓練の様子を動画で視聴していただいた。近隣の方に対する協力は避難者の見守りが主となる旨を確認した。
- ・ 11月に日中避難訓練実施予定。消火訓練もあるため、回覧で自治会の方への呼びかけを依頼予定。

④認知症チームケア推進体制の実施。

【目的の説明】

認知症チームケアとは認知症のある入居者の尊厳を守りつつ、適切な介護を提供するために複数の職員で構成されるチームを形成。このチームは日常的に入居者に対して適切なケアを提供し、認知症に伴う問題行動（B P S D）の予防及び早期対応を行うことでその重症化を防ぐことを目的としている。

→6月から2名の対象利用者の方へ実践開始。経過を今後報告していく。

3. その他

前年度大田市へ待避所増設の要望書を提出した。6/24に大田市土木課より回答があり、土地改良区の場合については舗装・設置可能となった。施工時期は未定であるが、決まり次第連絡を受ける予定。

次回予定

令和6年9月18日（水曜日） 9：30～10：30

第3回 地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：グループホーム たてがみの郷

サービス種類：■グループホーム ・ □小規模多機能型居宅介護

□地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

□地域密着型通所介護 ・ □認知症対応型通所介護

日 時：令和6年9月19日（木）9：30～10：30

場 所：第一会議室

出席者：7人

駐在所巡査長	欠席	知見を有する者	0人
利用者家族	1人	大田市職員	1人
地域住民の代表	1人	民生委員	1人
事業所職員（職名：管理者、主任）			3人

議 題：

1. 登録実績と利用状況について 別紙レジュメ参照

2. 活動状況報告

① 入退去について：8月9月と入退居なし。

② 運営推進会議検討項目

No.35 役割、楽しみごとの支援

- ・役割を増やす取り組み：ホール清掃や食器洗いなどの家事炊事
- ・月1回の調理、週1回のおやつ作り
- ・楽しみ活動：習字、創作活動（季節に応じた掲示物）

No.48：本人が持つ力の活用（近隣、地域との交流）

- ・9/4から朝波小児童下校時の見守り活動再開。
- ・家族と協力して外出外泊の取り組み実施

7月：外出7件、8月：外出6件、外泊1件

Q：利用者家族より見守り活動の暑さ対策はどのように行っているのか

A：下校時間を事前に把握して、昇降口から児童が出て車で待機してなるべく外で待機する時間を短くするようにしている。

Q：外出、外泊の先は自宅になるのか

A：自宅に限らず、生活習慣にあわせて馴染みの店舗での買い物や外食へ行かれる方が多い。

②外部評価関連

※No.12 職員を育てる取り組み

(内部研修)

- ・ 7/16 リスクマネジメント研修 全体
- ・ 8/19 身体拘束廃止研修 全体
- ・ 8/24 職員向け勉強会 適切な支援についての研修（声掛け、接遇）

(外部研修)・

- ・ 7/3 大田圏域感染症対策研修会（標準予防対策、食中毒、結核）全体
- ・ 8/27 住まいの看取り研修 1名
- ・ 8/28 生産性向上研修 2名
- ・ 8/26 公正採用選考推進セミナー 1名

※No.25 防災対策

11月に日中想定避難訓練予定。消火器訓練も予定しているので、地域の方へも改めてご案内する。

※No.39 居心地の良い共用空間づくり

本日委員へ評価を実施した。

③ 認知症チームケア推進体制の実施

6月から2名（夜間帰宅願望が強く不眠の方、食事に対する強い拒否のある方）の対象利用者の方に対して実践中。

【効果】

帰宅願望の訴えが減り、睡眠時間が1～2時間増えている。

拒否は日によってみられるが、食事量の確保は出来、体重も維持しています。

9月から新たに1名の方を対象に取り組んでいく。

Q：具体的な取り組みを教えて欲しい。

A：アセスメントを踏まえ、心理症状・行動障害の要因を分析し、本人と話を聞くことから開始した。生活習慣を踏まえて日中の活動や声掛けなどアプローチについて見直しているが、2名とも本人と関わる時間を持つことで症状が改善するケースが多い。

4、その他

行事報告 8/29、8/30 納涼祭実施（地域部共同開催）

次回開催日：令和6年11月20日（水曜日）9：30～10：30